



ハンセン病問題に学ぶ



高松市沖の国立療養所・大島青松園に入所されている
本田久夫さんから年賀状が届きました。

「昨年には身に余る感謝状をいただき、誠にありがとうございました」

昨年11月1日の合併記念日にハンセン病問題を通して人権意識の向上にご尽力いただいた本田久夫さん、松本常二さんのお二人に感謝状をお送りしたことへのお礼の言葉が添えられていました。

お聞きすれば、松本さんは昭和17年に、本田さんは昭和36年に強制隔離され、大島青松園での生活を強いられたとのこと。本田さんはその時、二度とふるさとの人と話すこともないし、園を離れることもできないと覚悟したそうです。

ハンセン病は軽度の感染症で、昭和22年には有効な治療薬の輸入も始まり、早期発見・早期治療で後遺症を残すことなく完治できるようになりました。

しかし当時は、国民の間に十分な知識もなく、また患者の立場に立った治療も行われないうえ、「不治の病」などと誤った印象が広がり、終生隔離を余儀なくされました。

お二人のお話は、戦前戦後の混乱期から「らい予防法」の廃止（平成8年）を経た今日までの人生すべてにかかわるもので、差別事象の中でも最たるものであり、お話を聞けば聞くほど心を痛めてしまいます。

それでもお二人が、「ふるさと西条に一生帰れるとは思わなかった。こんな日が来るとは夢にも思うとらんかった」と笑顔で話されているのを拝見し、少しは救われる思いがしました。

現在、関係者のご努力で、「ふるさと」「里帰り」「出発（たびだち）」などの人権啓発劇が数多く上演され、お二人にもご出演いただいております。

過去の歴史をしっかりとふまえて、新しい時代を切り開いていかなければなりません。

人権が尊重され、差別のない明るい社会を、皆さんと一緒に築いていきたいと強く思っています。

市政懇談会 ～市長とキャッチボール～ 各公民館で開催

地域の課題などについて、市長と直接意見交換をしてみませんか。ぜひご参加ください。

■日時・場所

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ○ 3月14日(金) 19時30分～21時 庄内公民館 | ○ 3月15日(土) 19時～20時30分 桜樹公民館 |
| ○ 3月18日(火) 19時30分～21時 橘公民館 | ○ 4月12日(土) 19時～20時30分 神拝公民館 |
| ○ 4月17日(木) 19時30分～21時 吉井公民館 | ○ 4月18日(金) 19時30分～21時 吉岡公民館 |
| ○ 4月19日(土) 13時30分～15時 加茂公民館 | |

■内 容

市政報告、意見交換（フリートーキング）

■問 合 せ

- 市庁舎本館広報広聴課
広聴係 TEL0897-52-1694
- 各総合支所総務課
総務調整係 ※電話番号は、10ページ上段



1月22日 西条公民館



1月28日 壬生川公民館